



ノンプログラミング Web データベースソフト

UnitBase

かんたんスタートガイド②

購入申請データベースの構築 編



ノンプログラミング Web データベース UnitBase
株式会社ジャストシステム EPS事業部

UnitBase 5.1 対応
最終更新日：2018年5月15日

概要

ノンプログラミングWebデータベースUnitBaseは、専門知識一切不要で業務システムを構築できるWebデータベースソフトです。案件管理や顧客管理、問い合わせ管理、決裁申請フローといった様々なシステムを誰でも簡単に構築することができ、部署やチームで行う業務の効率化を支援します。

本書では画面ショットと解説を交えながら、UnitBaseの導入から、UnitBaseの基本的な操作方法、データベースの構築方法や特長的な機能の使い方を一通り学ぶことができますようになっています。本書をもとに、ぜひUnitBaseを体験していただければ幸いです。

UnitBaseかんたんスタートガイド② 目次

1. 購入申請データベースの作成
2. 申請フローの設定

※UnitBaseのインストール手順や、基本的な操作の流れについては、

「UnitBaseかんたんスタートガイド① UnitBaseの導入～問い合わせ管理システムの構築 編」
を予めご覧ください。

ご注意

本書では、UnitBaseを新規にインストールする環境を前提にご説明を進めています。

お使いのパソコンや導入されているWebブラウザなどの環境に依存して、本書で使用している画面ショット等と異なる場合があります。適宜、読み替えてご利用いただけますと幸いです。

また、役職やユーザーの設定がUnitBaseに同梱されているサンプルデータと異なる場合は、決裁ラインや決裁フローの設定など一部行えない可能性がある手順がありますので、予めご了承の上、ご利用ください。

1. 購入申請データベースの作成

本書では、「購入申請」業務を例にとりて、UnitBase上で決裁・申請フローを実現する「決裁データベース」を構築します。

「決裁データベース」を使うことで、下記のように、決裁者に順番に申請を行い承認を取っていくフローを電子化することができます。



この章ではまず、「購入申請」の内容を入力するフォーマットとなるデータベースを構築し、アクセス権を設定して他のユーザーに公開する方法を学びます。

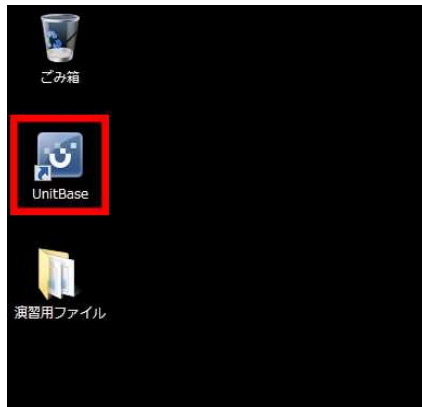
この章の流れ

- ・ UnitBaseの起動、ログイン
- ・ 購入申請データベースの作成
- ・ 作成したデータベースの確認
- ・ アクセス権の設定

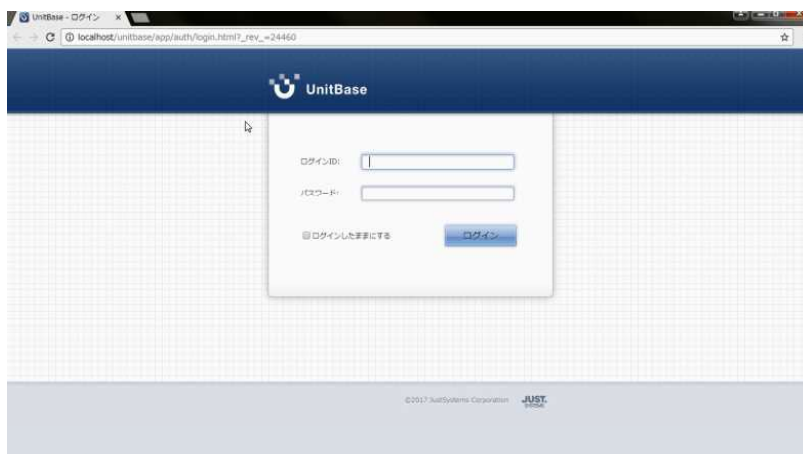
■UnitBaseの起動、ログイン

メモ：かんたんスタートガイド①から引き続いて作業を行う場合（すでにUnitBaseを起動していてログイン済みの場合）は、この項の手順を飛ばし「購入申請データベースの構築」から始めてください。

1. デスクトップ上にあるUnitBaseのアイコンをダブルクリックします。



UnitBaseのログイン画面が自動的に起動することを確認してください。



2. UnitBaseにアクセスし、以下のアカウント情報を使用してUnitBaseにログインします。

- ・ユーザー名：administrator
- ・パスワード：administrator（※初期パスワード）



メモ：administratorユーザーは管理者権限を持ち、すべての機能を利用することができます。

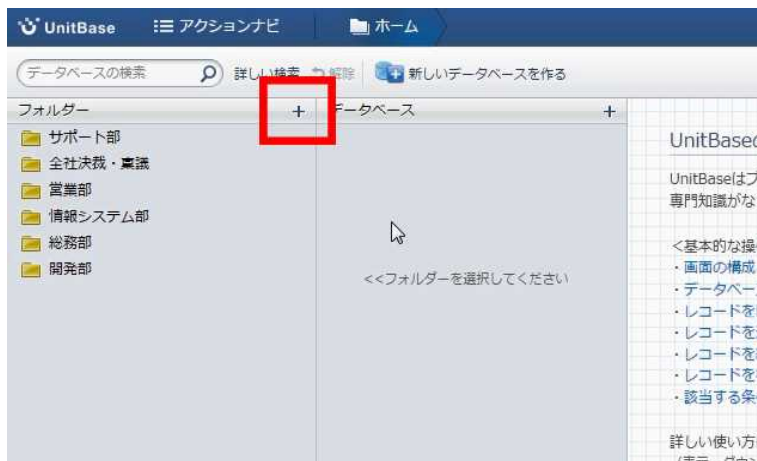
3. UnitBaseにログインすると、下記のようなホーム画面が表示されます。



■購入申請データベースの構築

メモ：かんたんスタートガイド①から引き続いて作業を行う場合（すでに「お試しフォルダー」が存在する場合）は、この項の2.の手順から始めてください。

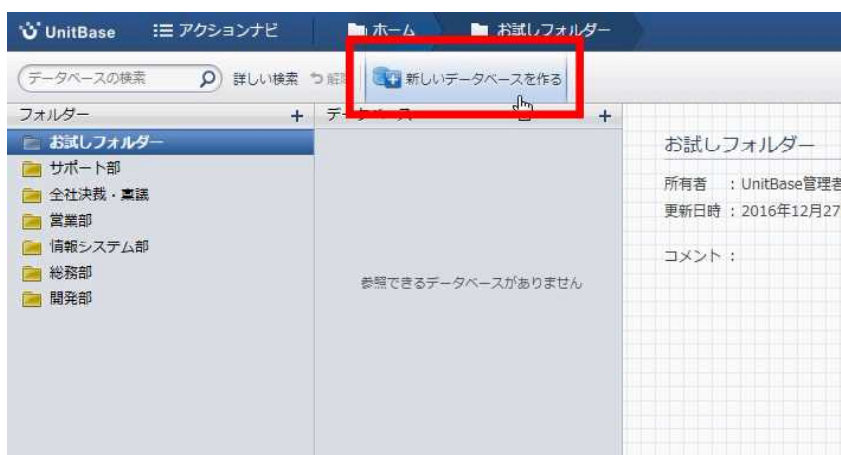
1. 「フォルダー」一覧の右上にある「+」ボタンをクリックします。



フォルダー名に「お試しフォルダー」と入力して「OK」ボタンをクリックします。



2. 作成された「お試しフォルダー」をクリックし、続けて「新しいデータベースを作る」ボタンをクリックします。



3. データベースの作成方法を選択する画面が表示されます。データベース名を「購入申請」とし、「白紙から作成する」を選択します。

新しいデータベースを作る

データベースの作成について

保存先 / データベース名

保存先: お試しフォルダー

データベース名: 購入申請

どのように作成しますか？

☐ ドキュメントから作成します

ユーザー名: 文字列 (1行)

パスワード: 文字列 (複数行)

ドキュメントから作成する

☐ 表計算ファイルからデータベースを一発作成します

表計算ファイルを取り込む

☐ テンプレートからデータベースを作成します

テンプレートから作成

キャンセル

データベースの編集画面が表示されます。

UnitBase

アクションナビ

ホーム

お試しフォルダー

購入申請

レイアウト

標準

分割表示

フォーム

一覧

並べ替え

詳細設定

新しいフィールド

既存のフィールド

基本

☐ 文字列 (1行)

☐ 文字列 (複数行)

123 数値

メール

URL

ドロップダウン

選択リスト

☒ チェックボックス

日付時刻

時間量

ファイル

画像

ユーザー

自動入力

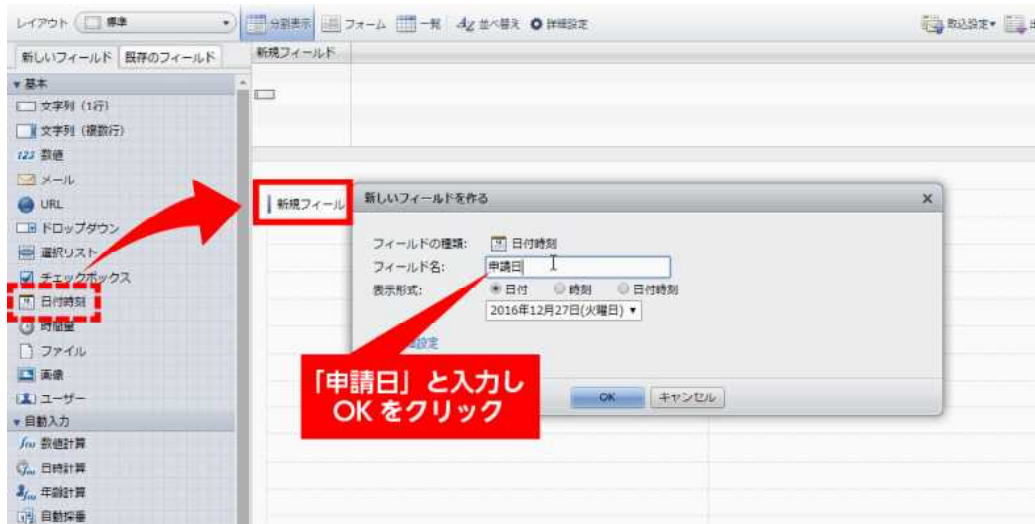
f_{ov} 数値計算

f_{ov} 日時計算

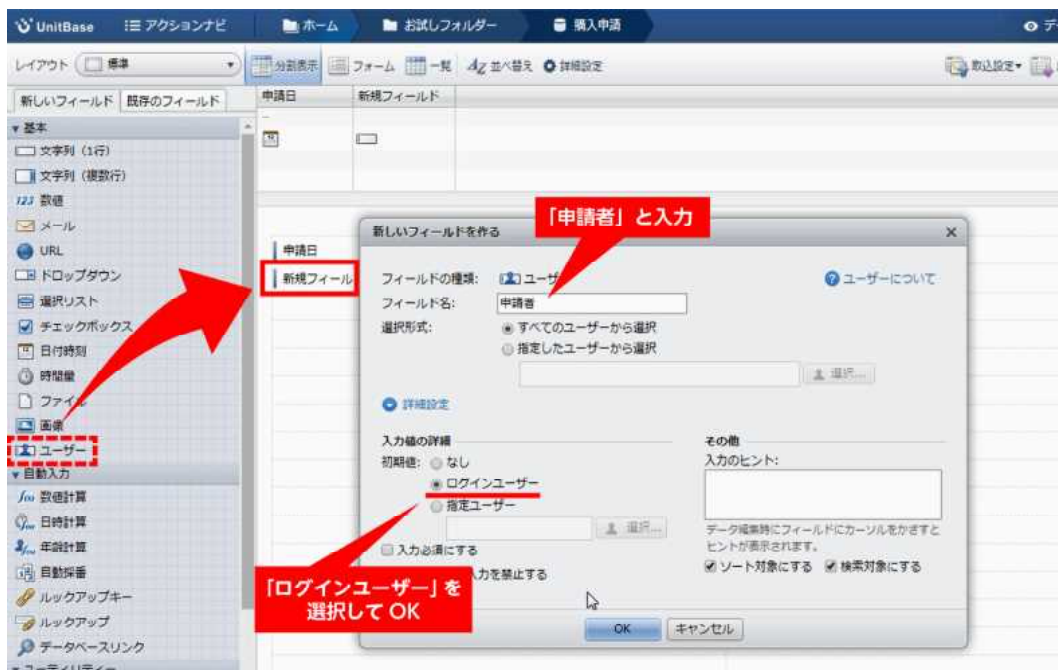
f_{ov} 年齢計算

f_{ov} 自動評価

4. 画面左から「日付時刻」をドラッグ&ドロップし、「申請日」フィールドを作成します。

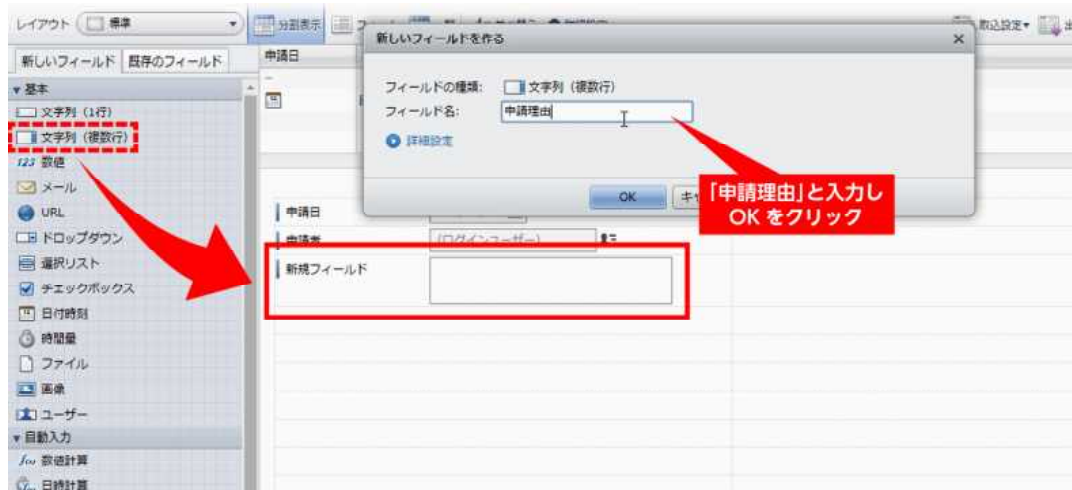


5. 続けて画面左から「ユーザー」をドラッグ&ドロップし、「申請者」フィールドを作成します。このとき、フィールドの詳細設定として、初期値を「ログインユーザー」に設定してください。

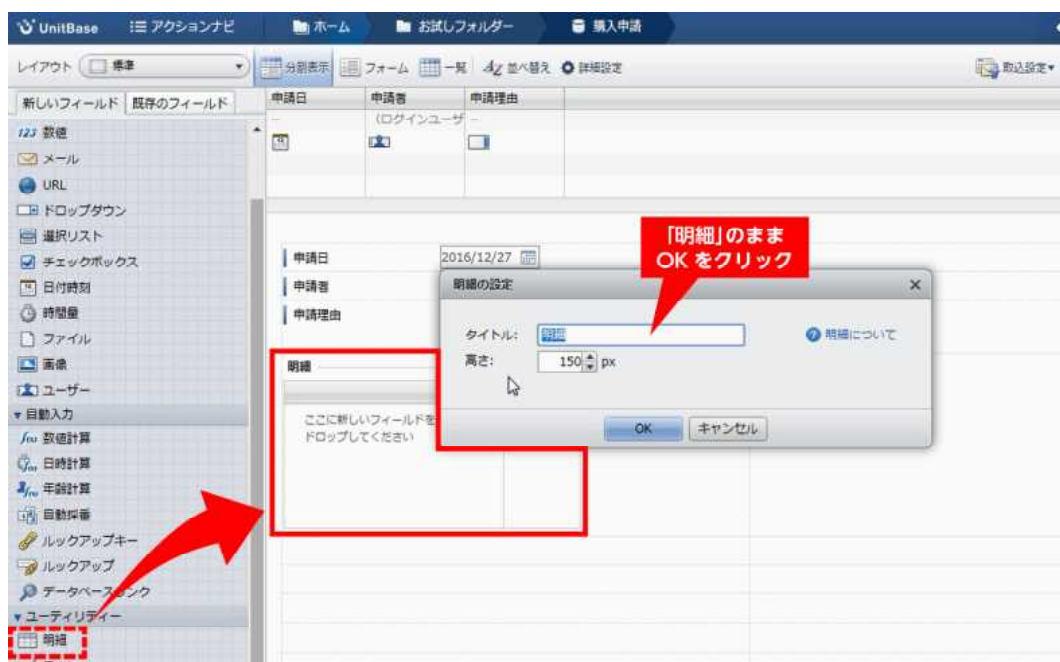


メモ：初期値を「ログインユーザー」に設定することで、申請する人が自分の情報を毎回入力しなくても、ログインユーザーの情報を使って自動的に設定されるようになります。

6. 続けて画面左から「文字列（複数行）」をドラッグ＆ドロップし、「申請理由」フィールドを作成します。

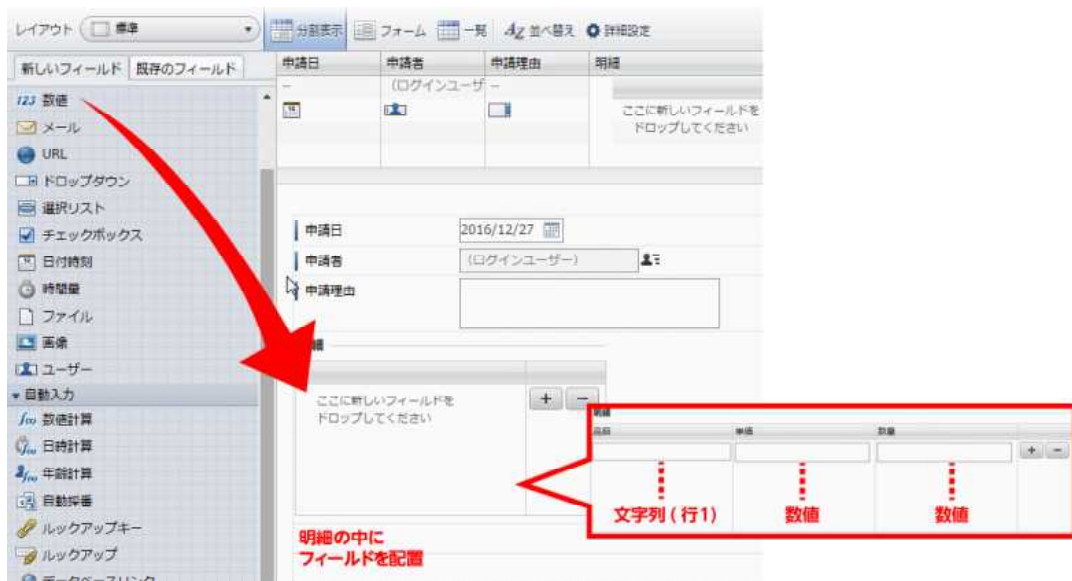


7. さらに、画面左から「明細」をドラッグ＆ドロップします。名前はそのまま「明細」で構いません。

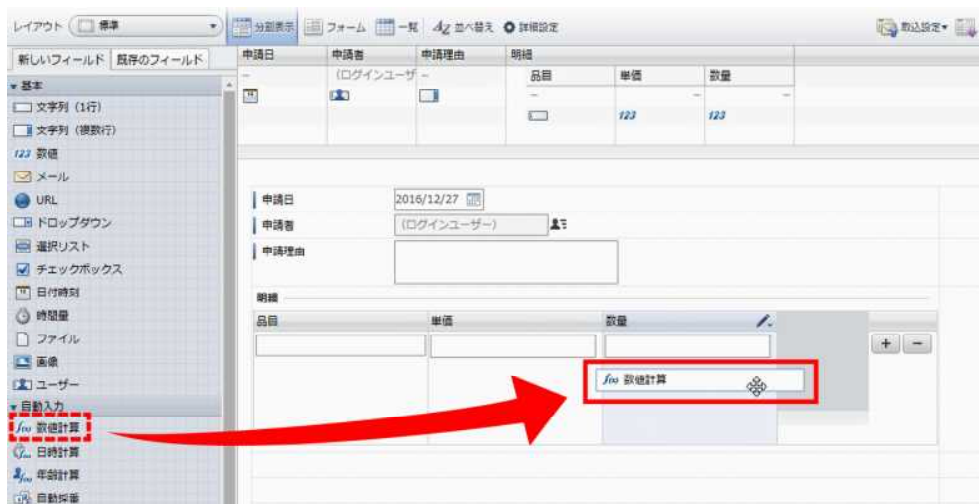


メモ：「明細」フィールドは、その名の通り明細項目を記入したい場合に使用する特別なフィールドです。明細の中に配置されたフィールドは、繰り返し（1つのレコードに対して複数回）入力することが可能になります。

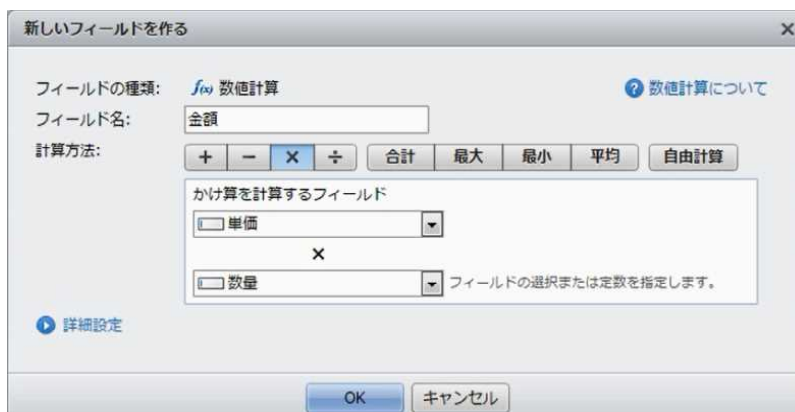
8. 「明細」の中に、次のように「品目（文字列1行型）」「単価（数値型）」「数量（数値型）」の3つのフィールドを追加します。各フィールドの表示幅は、適宜変更してください。



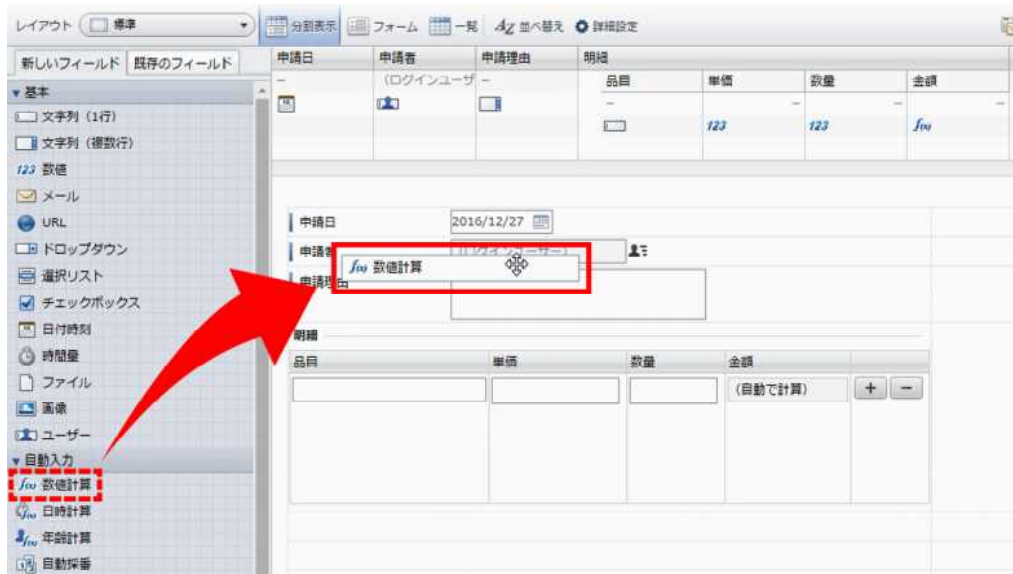
9. さらに「明細」の中に、「数値計算」フィールドを配置します。



フィールドの名前を「金額」、値の設定を「単価」「×」「数量」となるように設定します。



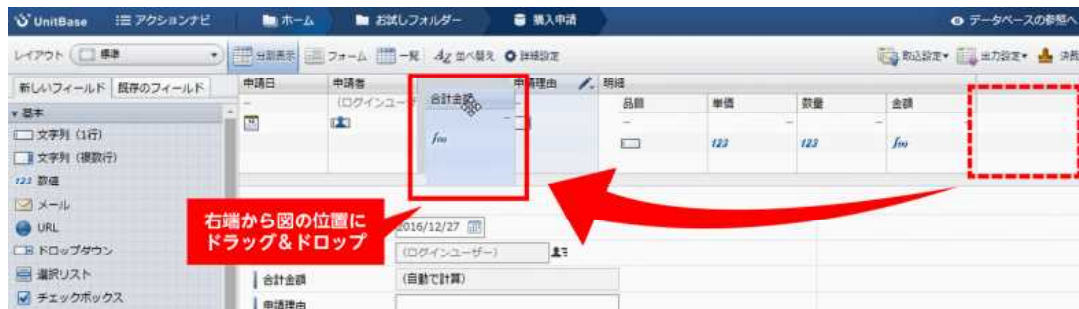
10. 最後にもう一つ「数値計算」を配置します。この数値計算は明細の外に配置します。「申請者」と「申請理由」の間にマウスでドラッグすることで、すでに配置されたフィールドの間に配置することができます。



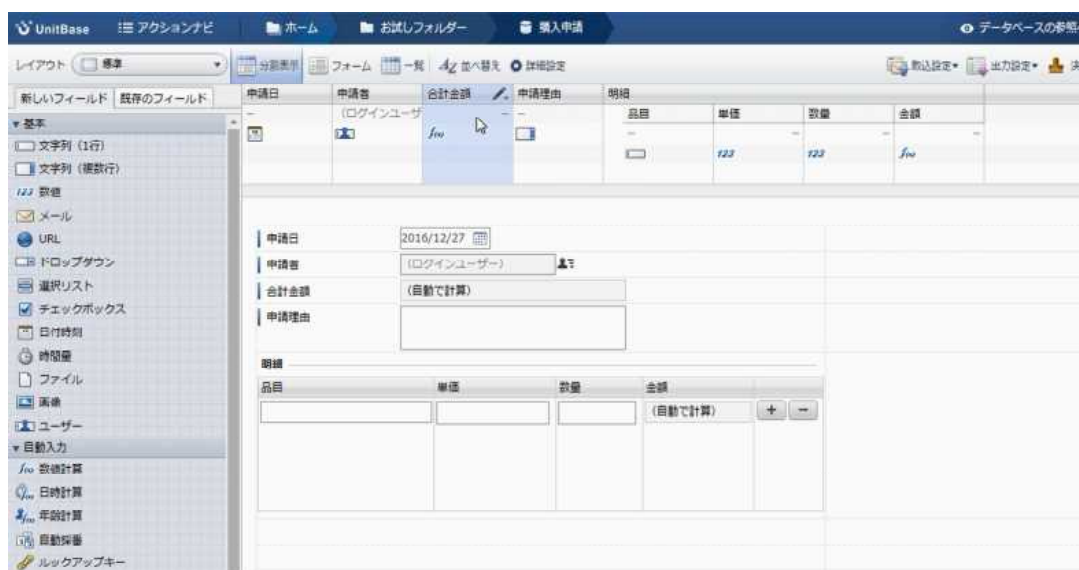
フィールドの名前を「合計金額」、値の設定を「金額」の「合計」となるように設定します。(「合計」をクリックした後、選択可能なフィールドから「金額」を選択し、「←」ボタンをクリックします。)



11. 一覧の「合計金額」の位置も下図の通り修正します。



12. ここまでの手順で、下図の通りになっていれば完了です。

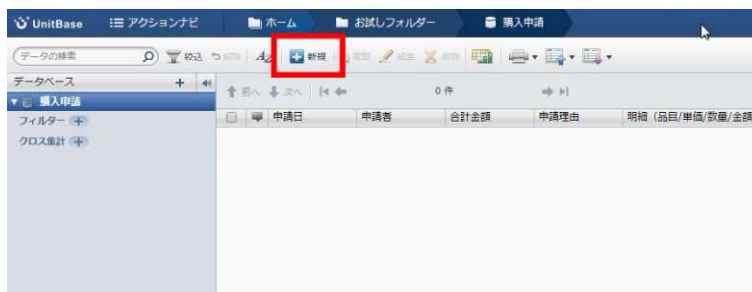


■ 作成したデータベースの確認

1. ここまでの作業で作成したデータベースを確認します。「データベースの参照へ」ボタンをクリックしてください。



2. データベース閲覧画面で、上部メニューより「新規」をクリックします。



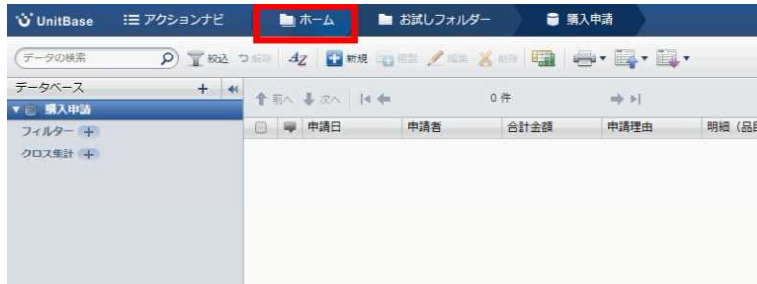
3. 下図のように入力ダイアログが表示されます。「申請者」フィールドと、「明細」の動きを確認したら、「キャンセル」ボタンを押して次の手順に進んでください。



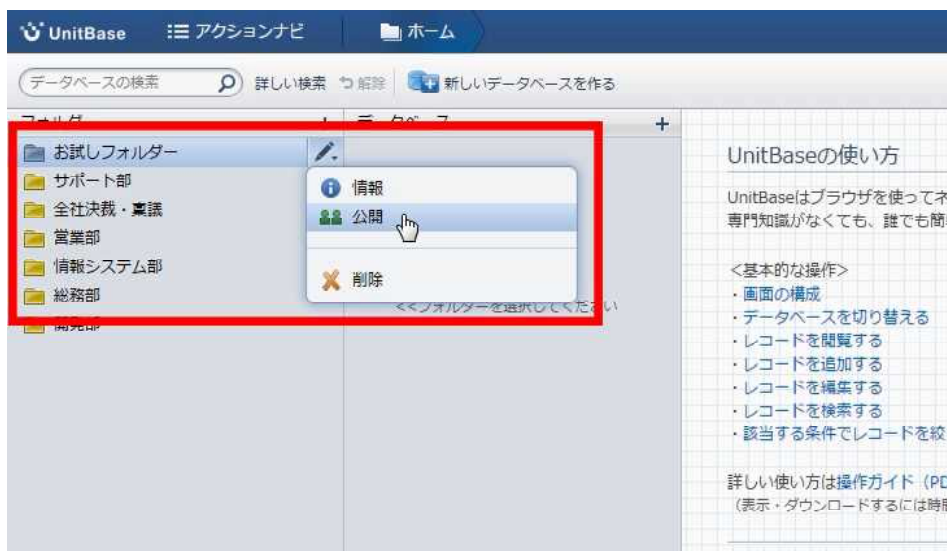
■ アクセス権の設定

購入申請データベースや、データベースが保存されているフォルダーを、他のユーザーが見える（申請/承認ができる）よう、アクセス権を設定して公開します。

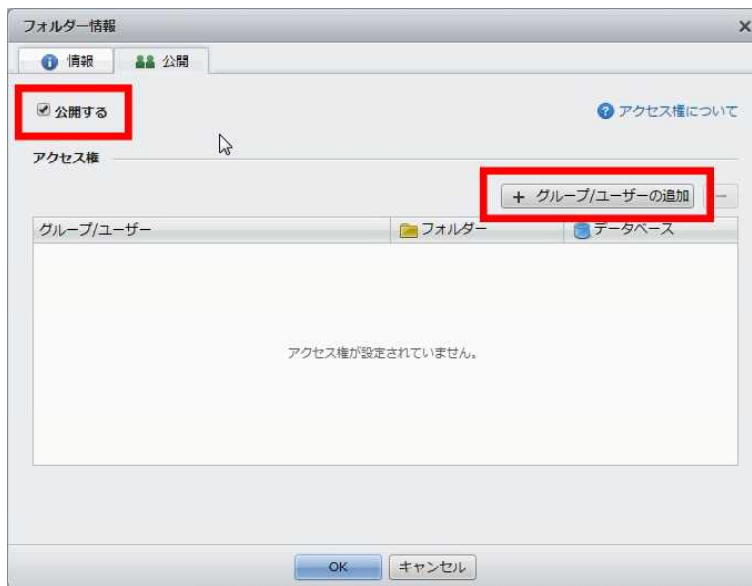
1. 画面左上の「ホーム」ボタンをクリックし、UnitBaseのホーム画面に移動します。



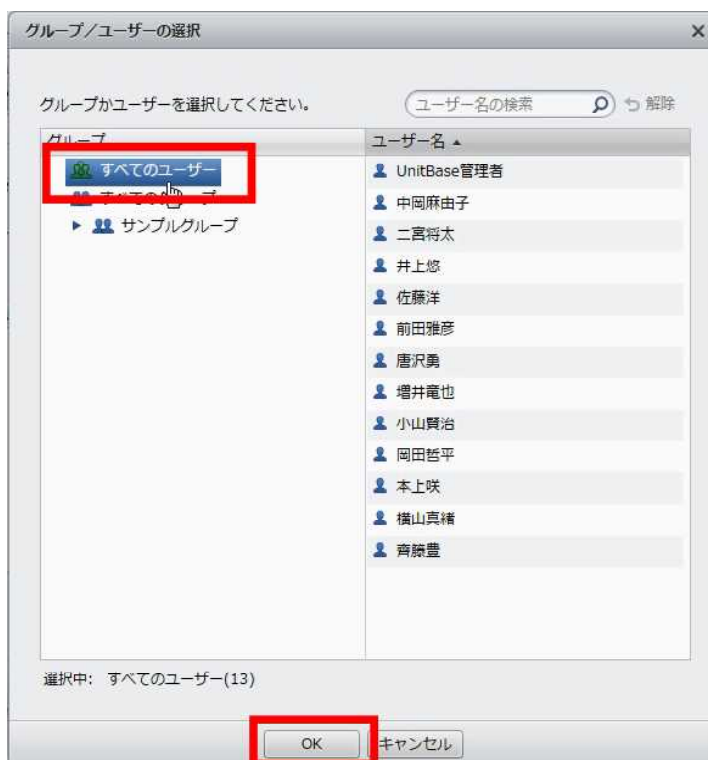
2. データベースが格納されている、「お試しフォルダー」にアクセス権を設定します。「お試しフォルダー」の右側に表示される鉛筆マークをクリックし、「公開」を選択します。



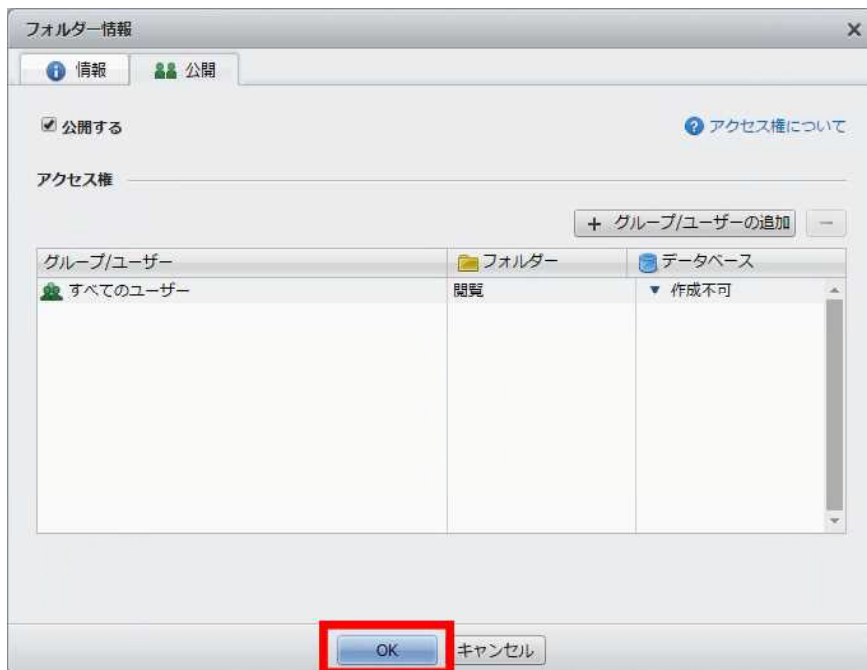
3. 「フォルダー情報」ダイアログにて、「公開する」にチェックを入れ、「グループ/ユーザーの追加」ボタンをクリックします。



4. 「グループ/ユーザーの選択」ダイアログにて、「すべてのユーザー」グループを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



5. 下図のようにアクセス権が設定されました。確認できたら「OK」をクリックしてください。

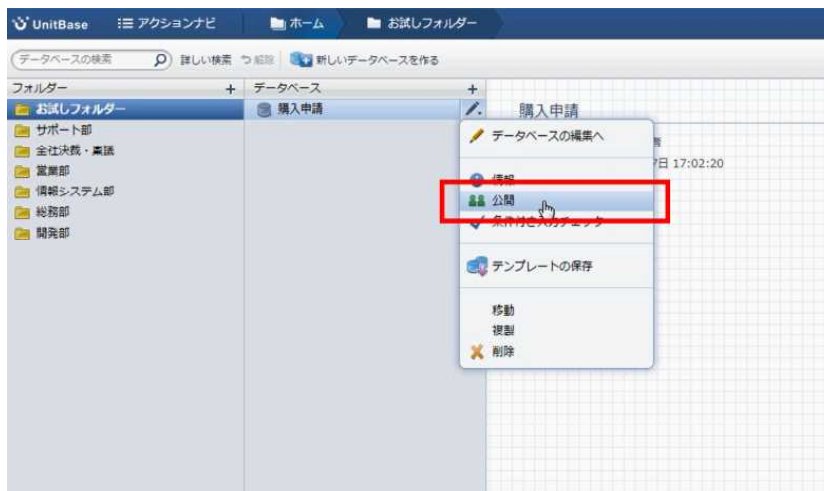


メモ：上図の設定は、UnitBaseにアクセスできるすべてのユーザーがこのフォルダーにアクセスできるようにする設定です。

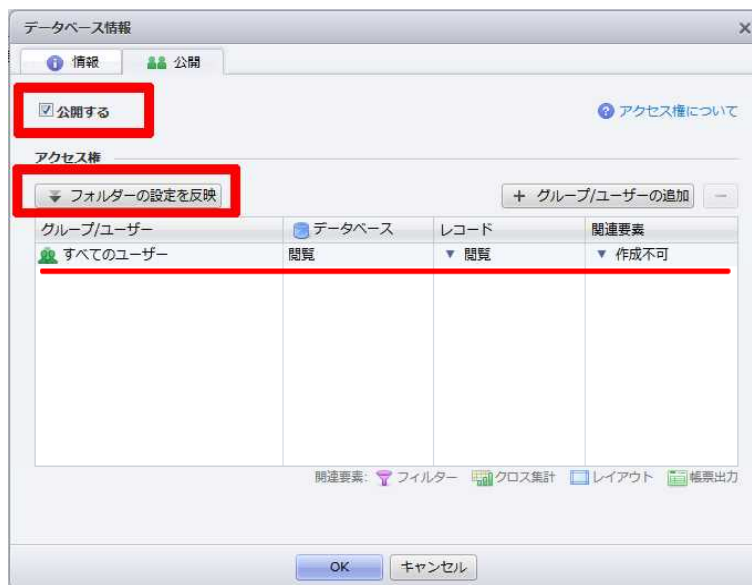
6. 「お試しフォルダー」が公開されました。フォルダー名左側のアイコンが黄色く変化したのが確認できます。



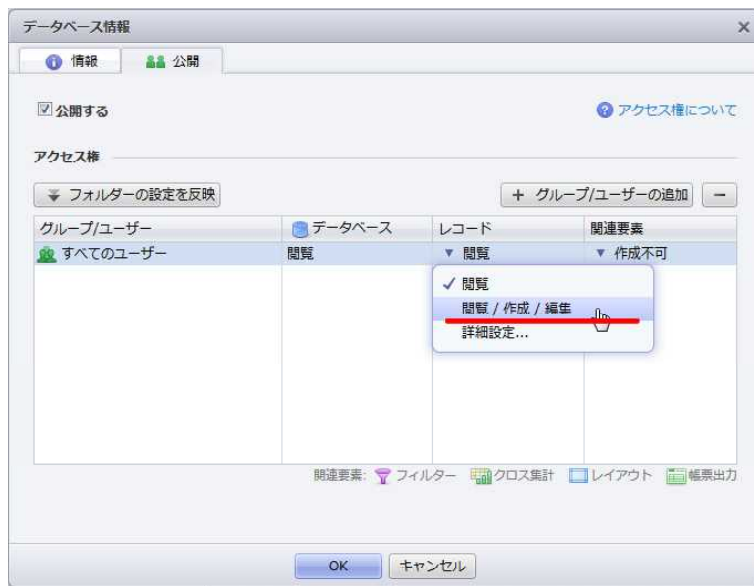
7. 次に、「購入申請」データベースの公開設定を行います。「購入申請」データベース名の右側にある鉛筆マークをクリックし、「公開」を選択してください。



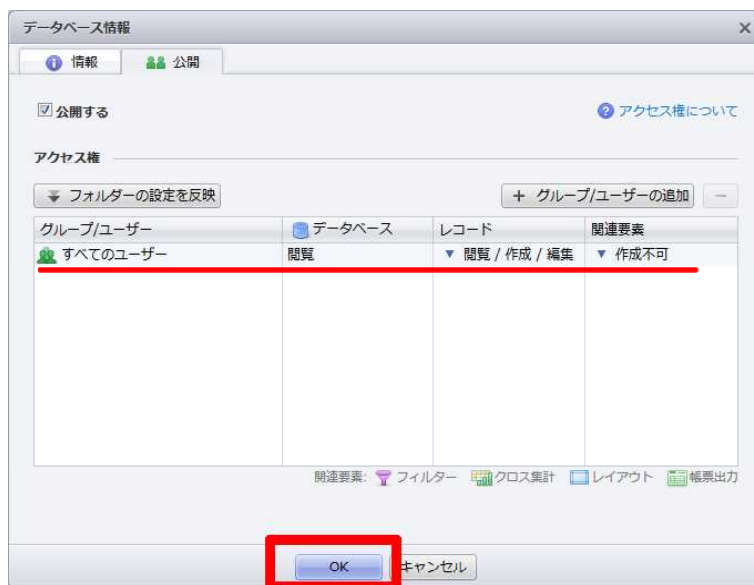
8. 「公開する」にチェックを入れ、「フォルダーの設定を反映」をクリックすると、下図のようにフォルダーに設定された「すべてのユーザー」のアクセス権が自動的に入力されます。



9. 「すべてのユーザー」の「レコード」の下に表示された「閲覧」をクリックし、「閲覧/作成/編集」を選択して変更します。



10. 下図のようになったのを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



11. 「アクセス権の反映」ダイアログで「選択して反映」を選択します。



12. 「アクセス権の反映（選択して反映）」ダイアログで「レイアウト」「標準」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。



メモ：「アクセス権の反映」ダイアログは、すでに多くのフィルター、クロス集計、レイアウトや帳票などが設定されているデータベースにおいて、アクセス権の変更を一括で行える機能です。

13. 「購入申請」データベースが公開されました。データベース名左側のアイコンが明るい青に変わったのが確認できます。



ここまでの手順で、「お試しフォルダー」および「購入申請」データベースが「すべてのユーザー」に公開されました。

この章のまとめ

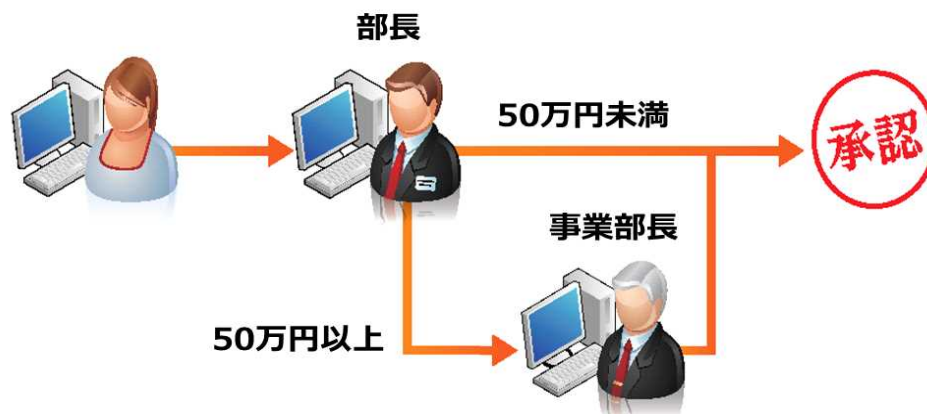
この章では、「購入申請」の電子化されたフローを作成する前に、入力用のフォーマットを作る方法を学びました。「明細」フィールドや「数値計算」フィールドを使って、少し高度な処理を自動的に行える部品の使い方をご理解いただけたかと思います。

また、フォルダーやデータベースにアクセス権を設定し、他のユーザーに公開する方法を学びました。この演習では「すべてのユーザー」に対して公開を行いました。必要に応じて公開するユーザー/グループを選択して公開先を限定することも可能です。

2. 決裁ルートの設定

この章では、先ほど作成した「購入申請」データベースに対し、決裁ルートを設定を行い、決裁データベースとしての運用を開始する手順を学びます。

この演習で設定する、想定する決裁ルートは下記のイメージです。



申請する金額が一定金額（ここでは50万円）を超えるかどうかで決裁ルートが変更になるイメージです。このとき、申請される金額を条件として、適切な決裁ルートが自動的に選ばれるように設定します。

また課長や部長、事業部長などの役職で表現されているユーザーは固定の個人ではなく、申請者の所属によって異なるため、この点についても自動的に反映される設定にします。

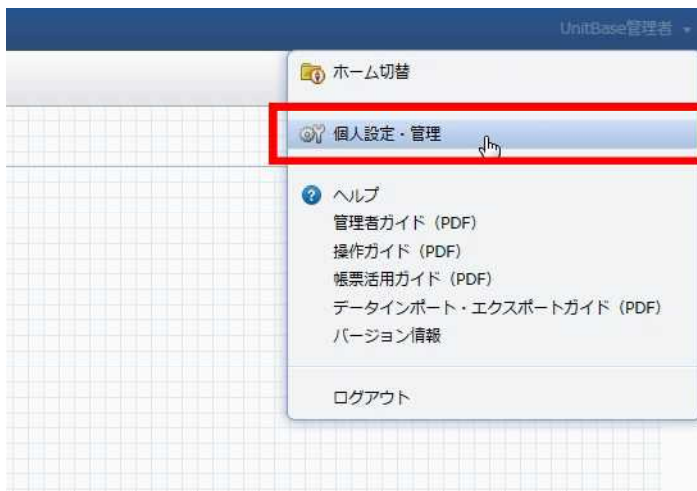
この章の流れ

- ・ 決裁ライン（役職）の設定
- ・ 決裁ルートの設定
- ・ 決裁データベースの確認

■ 決裁ライン（役職）の設定

自分にとっての「課長」や「部長」が誰に当たるかの設定を行います。

1. 画面右上の「UnitBase管理者」をクリックし、「個人設定・管理」を選択します。



2. UnitBaseの管理画面が表示されますので、左側のメニューから「決裁ライン」を選択してください。



メモ：「個人設定」はUnitBaseの各ユーザーが見ることができるメニューです。「UnitBaseの管理」以下はシステム管理者のみが見ることができるメニューです。

3. 決裁ラインの設定画面が表示されます。

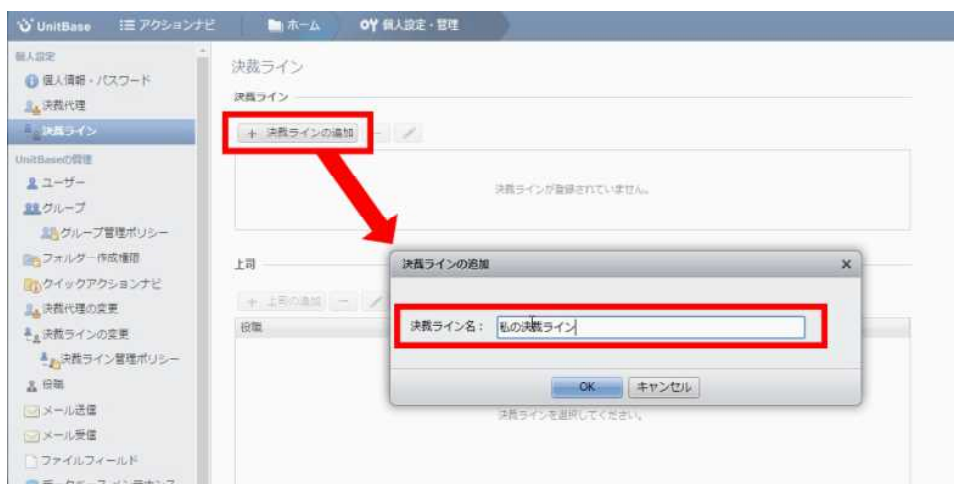


この画面を使って、決裁ラインを登録していきます。

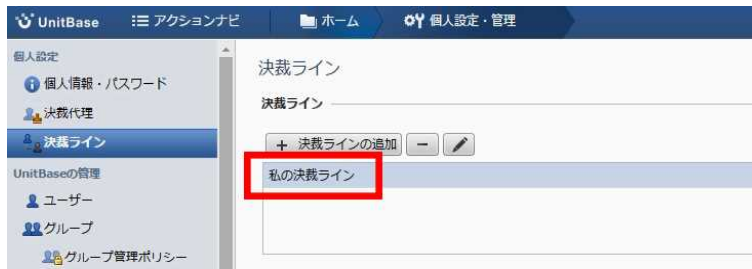
メモ：役職（「課長」や「部長」など）を新たに追加する場合は、上図メニューの「役職」から行います。UnitBaseのシステム管理者のみが行える作業です。

メモ：決裁ラインは個人ごとに異なるユーザーを設定できます。ファイルを使った一括取込や、定期的なメンテナンスの方法も用意しています。詳しくはお問い合わせください。

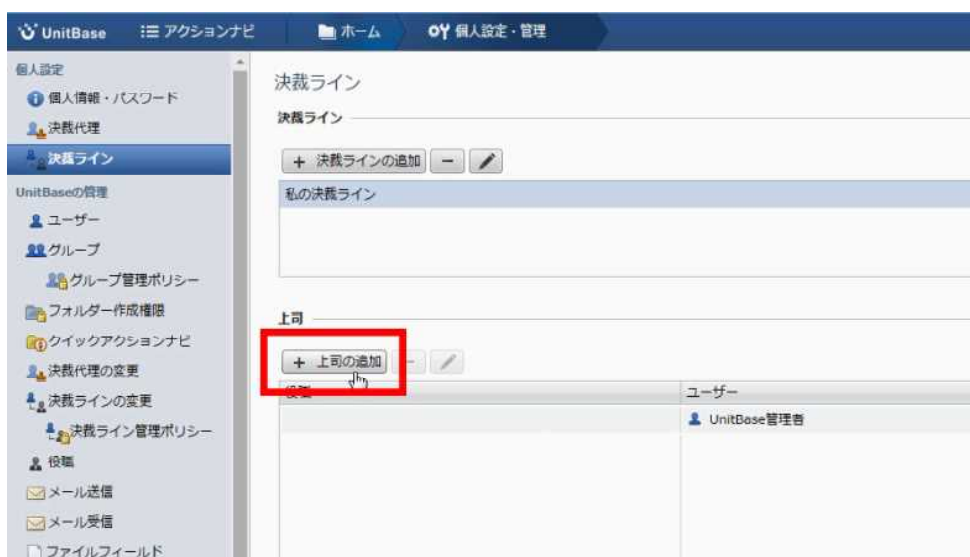
4. 「決裁ラインの追加」ボタンをクリックし、表示されたダイアログの決裁ライン名に「私の決裁ライン」と入力します。できたら「OK」ボタンをクリックしてください。



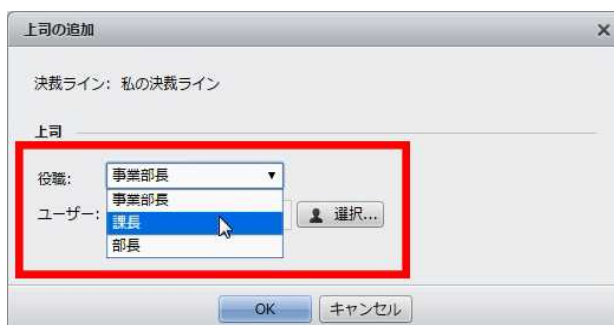
5. 新しい決裁ラインが追加されました。



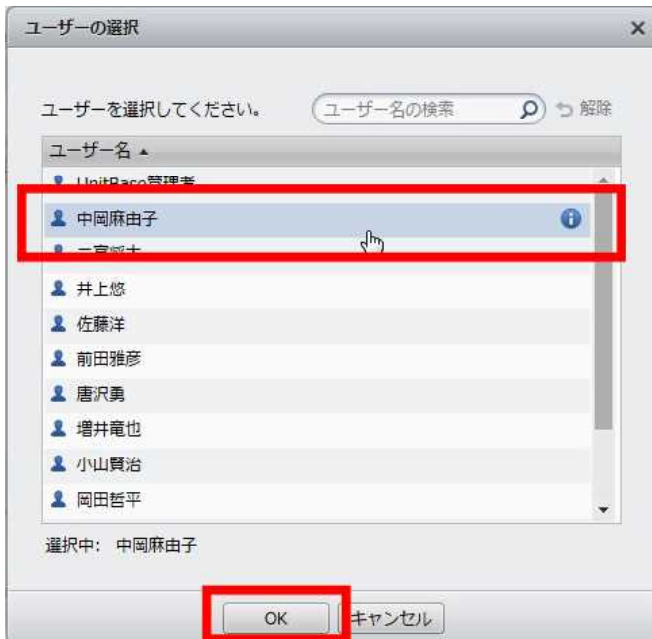
6. 続けて、「私の決裁ライン」における役職の設定を追加していきます。「私の決裁ライン」を選択した状態で、「上司の追加」ボタンをクリックしてください。



下図のようなダイアログが表示されるので、プルダウンから「課長」⇒「選択」ボタンの順にクリックします。



表示されたユーザーリストから「中岡麻由子」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



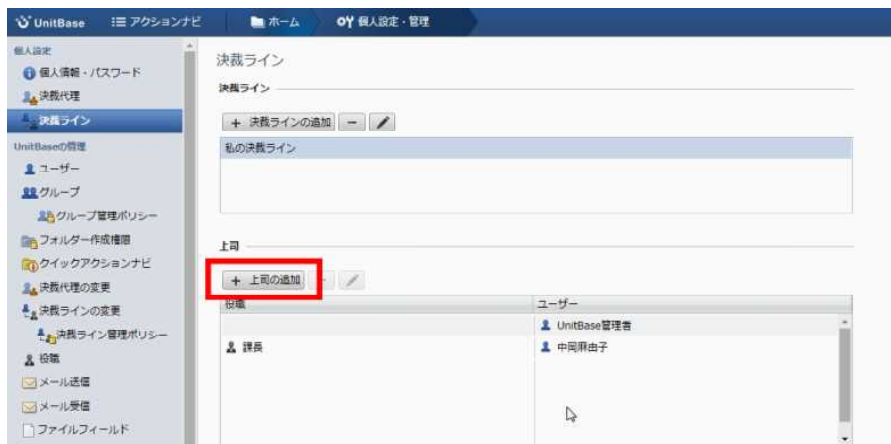
「課長」に対して「中岡麻由子」が設定されたのを確認し、「OK」をクリックします。



上司が設定されました。



7. 「上司の追加」ボタンから手順6.の操作を繰り返し、「部長」と「事業部長」にもユーザーを割り当ててください。



本書では下記の通り設定しています。

課長：中岡麻由子

部長：二宮将太

事業部長：井上悠

8. 下図のように設定できたら「保存」をクリックしてください。



下図のようなダイアログが表示されれば完了です。「閉じる」ボタンをクリックしてください。



9. 左上「ホーム」を選択し、UnitBaseホーム画面に戻ってください。



■ 決裁データベース、決裁ルートの設定

手順1.で作成したデータベースに、決裁データベースとして運用できるよう設定を行っていきます。

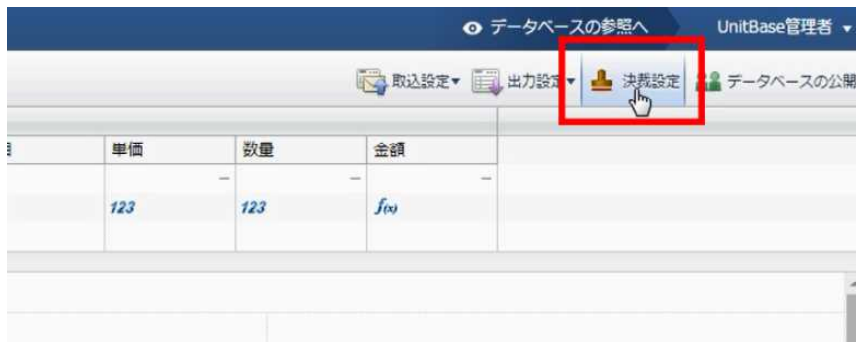
1. 「お試しフォルダー」→「購入申請」データベースの順に選択します。



2. 画面右上の「データベースの編集へ」ボタンをクリックします。



3. データベース編集画面において、画面右上の「決裁設定」ボタンをクリックします。



4. 「決裁の設定」ダイアログで、「決裁データベースにする」チェックボックスにチェックを入れます。

決裁の設定

☒ 決裁データベースにする

申請者へのコメント:

決裁ルート一覧:

優先順	決裁ルート	設定値	自動選択条件
決裁ルートが登録されていません。			

※複数条件を同時に満たす場合、優先順位の高いものが自動選択されます

☐ 決裁ルートの選択を必須にする ※この設定を有効にした場合、決裁ルート未選択時には決裁者の追加が行えなくなります

☐ 自動選択されたルートでの申請を必須にする

決裁者上限数: 20

5. 続けて「決裁ルートの追加」を選択します。

表示されたダイアログに「50万円未満のルート」と入力し、「決裁者の追加」ボタンをクリックしてください。」

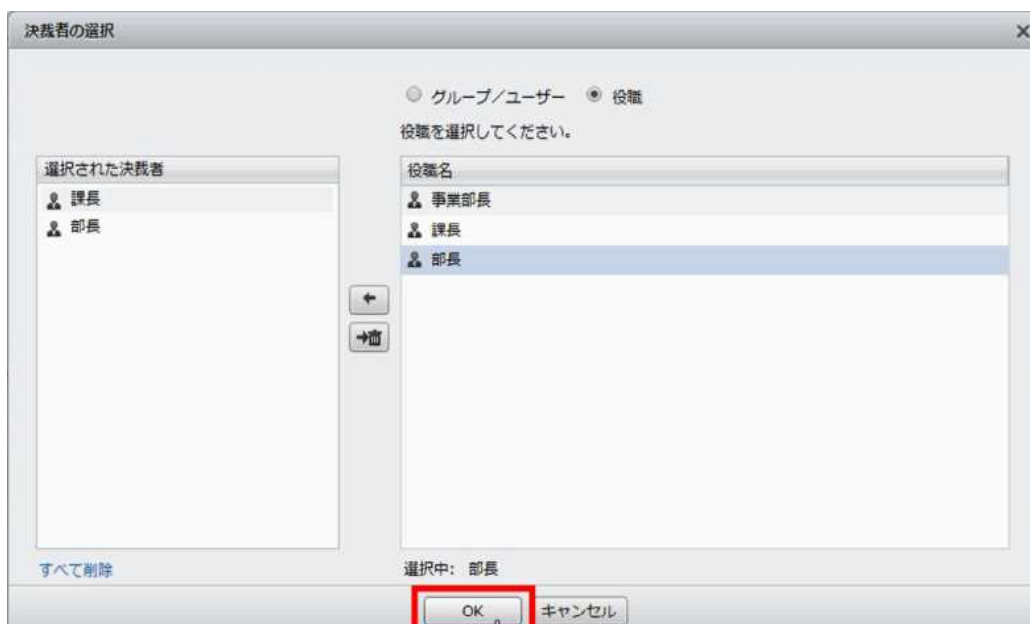
決裁ルートとして必要な決裁者を選択します。決まった個人ではなく、役職を使ったルートを作りたいため、「役職」を選択して表示を切り替えます。



役職の一覧が表示されます。右に表示された役職から、決裁ルートに含めたい役職を選択して、「←」ボタンをクリックすることで「選択された決裁者」欄に移していきます。



今回のルートでは、「課長」と「部長」を順番に左に移してください。下図のようになれば完了ですので、「OK」ボタンをクリックします。



6. 続けて、ダイアログ下部の「自動選択の条件」を設定します。

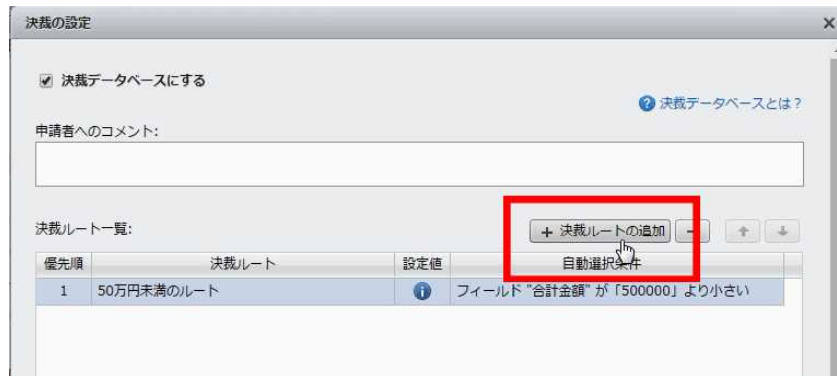
左から順に、「合計金額」フィールドが「500000」「より小さい」という条件を作ります。

下記の通りになっていれば設定は完了ですので、「OK」ボタンをクリックします。

「50万円未満のルート」が追加されました。

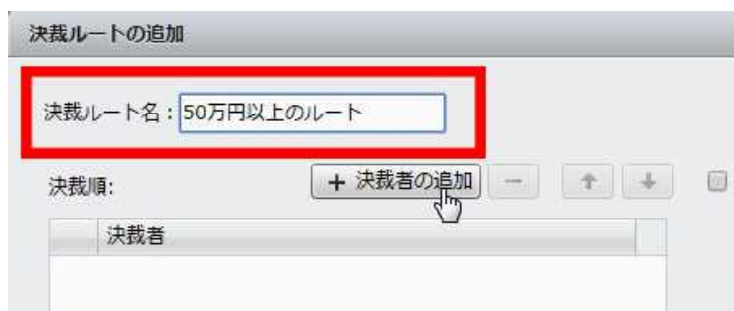
優先順	決定ルート	設定値	自動選択条件
1	50万円未満のルート	1	フィールド「合計金額」が「500000」より小さい

7. 「決裁ルートの追加」ボタンから手順5, 手順6を繰り返し、「50万円以上のルート」も設定します。

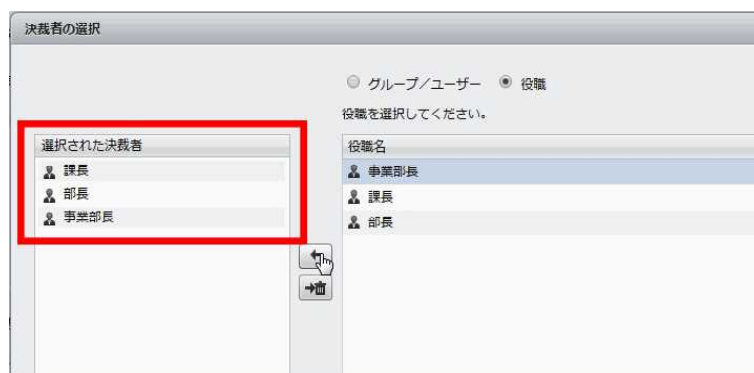


※以下は手順5, 手順6と異なる部分だけの説明です。

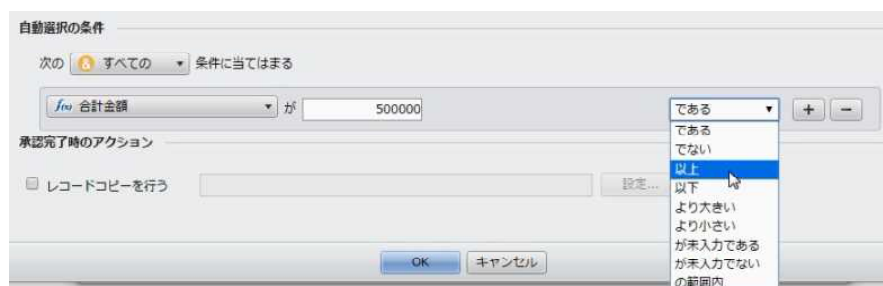
決裁ルート名を「50万円以上のルート」と設定します。



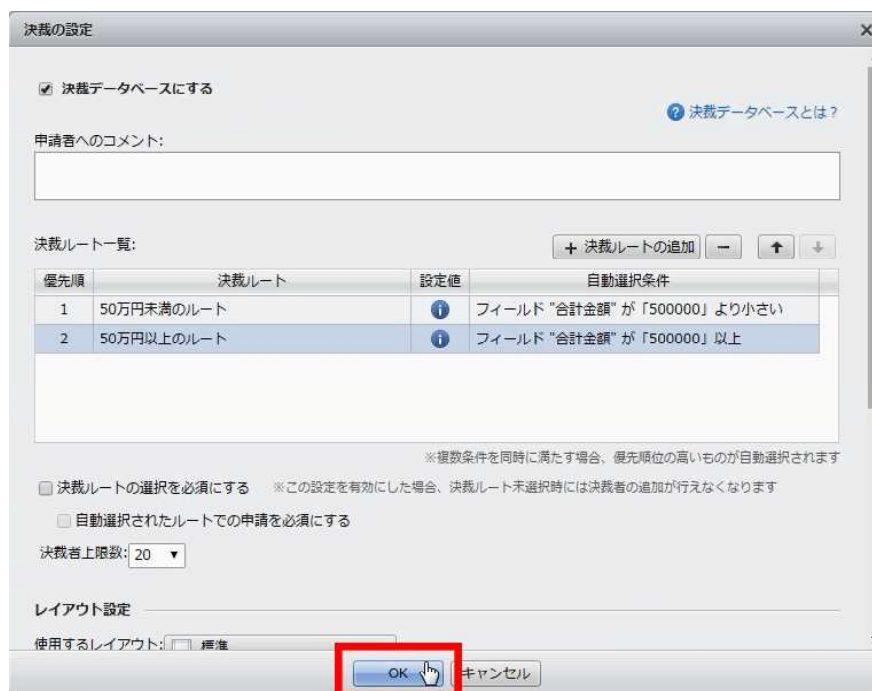
「50万円以上のルート」には、「課長」「部長」に加えて「事業部長」も決裁ルートに加えます。



「自動選択の条件」において、左から順に、「合計金額」フィールドが「500000」「以上」という条件を作ります。



8. 「50万円以上のルート」も設定できたら、下記のようになります。確認の上、「OK」ボタンをクリックしてください。



決裁の設定

☒ 決裁データベースにする [? 決裁データベースとは?](#)

申請者へのコメント:

決裁ルート一覧:

優先順	決裁ルート	設定値	自動選択条件
1	50万円未満のルート	①	フィールド "合計金額" が「500000」より小さい
2	50万円以上のルート	①	フィールド "合計金額" が「500000」以上

※複数条件を同時に満たす場合、優先順位の高いものが自動選択されます

☐ 決裁ルートの選択を必須にする ※この設定を有効にした場合、決裁ルート未選択時には決裁者の追加が行えなくなります

☐ 自動選択されたルートでの申請を必須にする

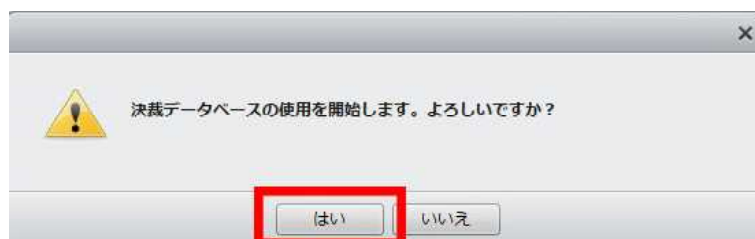
決裁者上限数: 20 ▼

レイアウト設定

使用するレイアウト: ☐ 標準

OK キャンセル

確認のダイアログが表示されるので、「はい」を選択します。



決裁データベースの使用を開始します。よろしいですか?

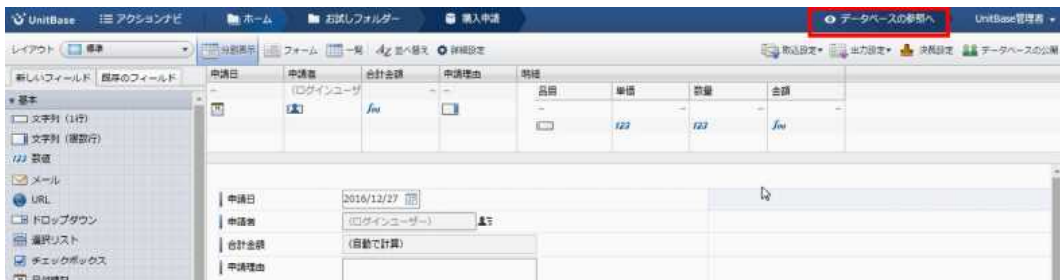
はい いいえ

以上で決裁データベースの運用が開始されました。

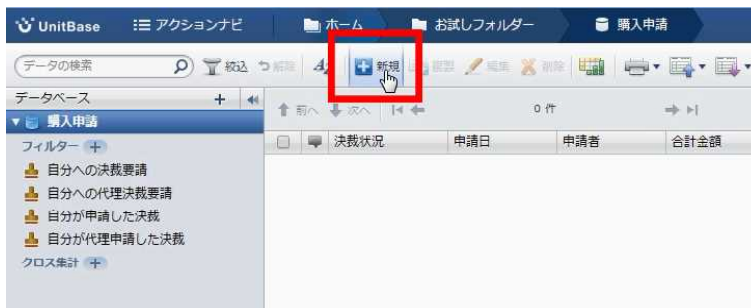
■ 決裁データベースの確認

運用を開始した決裁データベースで申請を行ってみます。

1. 画面右上の「データベースの参照へ」をクリックします。



2. データベースの閲覧画面において、「新規」をクリックします。



下図のような入力ダイアログが表示されます。決裁データベースでは、「保存して閉じる」ボタンが「保存して次へ」ボタンに変更されます。

メモ：バージョンによっては「次へ」と表示されます。

3. 各フィールドに値を入力していきます。たとえば下記のようにデータを入力して、「保存」をクリックしてください。

新しいレコード：購入申請 (1/2)

申請日 2016/12/27

申請者 UnitBase管理者

合計金額 (自動で計算)

申請理由 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	(自動で計算)	+ -

保存して次へ 保存 キャンセル

「金額」フィールド、「合計金額」フィールドは自動的に値が計算されます。

申請日 2016/12/27

申請者 UnitBase管理者

合計金額 250000

申請理由 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	250000	+ -

合計金額は「250,000」円となりました。

4. 入力したデータを申請します。「保存して次へ」をクリックしてください。

新しいレコード：購入申請 (1/2)

申請日: 2016/12/27

申請者: UnitBase管理者

合計金額: 250000

申請理由: 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額
デスクトップパソコン	50000	5	250000

元に戻る 保存して次へ 保存 キャンセル

決裁申請の設定画面が表示されます。入力された「合計金額」が250,000円のため、自動的に「50万円未満のルート」が選択され、「課長」と「部長」に決裁者が展開されています。

新しいレコード：購入申請 (2/2)

決裁データについて

決裁申請の設定

指定された条件により決裁ルート「50万円未満のルート」が選択されました。

決裁ルート: 50万円未満のルート

決裁ライン: 私の決裁ライン

決裁順

1	中岡麻由子	【課長】
2	二宮健太	【部長】

※この決裁ルートは（未解決）の役職をスキップして申請できます。

決裁者へのコメント:

< 戻る 決裁開始 保存 キャンセル

確認したら「戻る」をクリックしてください。

5. 申請金額を変更してみます。明細の中の「+」ボタンをクリックしてください。

レコードの編集：購入申請 (1/2)

申請日: 2016/12/27
申請者: UnitBase管理者
合計金額: 250000
申請理由: 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	250000	+ -

入力行が追加されるので、下記の通りに入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	250000	+ -
ノートパソコン	100000	5	(自動で計算)	+ -

元に戻す 保存して次へ 保存 キャンセル

入力行が追加されるので、下記の通りに入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。

レコードの編集：購入申請 (1/2)

申請日: 2016/12/27
申請者: UnitBase管理者
合計金額: 750000
申請理由: 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	250000	+ -
ノートパソコン	100000	5	500000	+ -

合計金額は「750,000」円に変わりました。

6. 入力したデータを再度、申請します。「保存して次へ」をクリックしてください。

レコードの編集：購入申請 (1/2)

申請日: 2016/12/27
申請者: UnitBase管理者
合計金額: 750000
申請理由: 業務上必要なため。

明細

品目	単価	数量	金額	
デスクトップパソコン	50000	5	250000	+ -
ノートパソコン	100000	5	500000	+ -

元に戻す 保存して次へ> 保存 キャンセル

決裁申請の設定画面が表示されます。入力された「合計金額」が750,000円になったため、自動的に「50万円以上のルート」が選択され、「事業部長」まで決裁者が展開されました。

レコードの編集：購入申請 (2/2)

決裁データについて

決裁申請の設定

指定された条件により決裁ルート「50万円以上のルート」が選択されました。

決裁ルート: 50万円以上のルート
決裁ライン: 私の決裁ライン

※選択されている決裁ルートは決裁順の編集ができません。

決裁順

1	中岡麻由子	[課長]
2	二宮将太	[部長]
3	井上悠	[事業部長]

決裁者へのコメント:

< 戻る 決裁開始 保存 キャンセル

確認したら「決裁開始」ボタンをクリックして、申請を行います。

7. 申請のレコードが追加されました。

The screenshot shows the UnitBase application interface. On the left, there is a sidebar with a 'データベース' (Database) section containing a list of filters. The main area displays a table of purchase requests. The first record is highlighted, showing details for a request made on 2016年12月27日 (Thursday) for a total amount of 750,000. Below the table, there is a detailed view of the selected record, including the applicant (UnitBase管理者), the date, and the reason for the request (業務上必要のため).

決裁状況	申請日	申請者	合計金額	申請理由	総額 (品目/単位/数量/金額)
決裁中(中岡麻由子)	2016年12月27日 (UnitBase管理者)	UnitBase管理者	750000	業務上必要のため。	デスクトップパソコン 50000

8. 申請したレコードを選択した状態で「決裁情報」タブをクリックすると、決裁の状況が確認できるようになっています。

The screenshot shows the UnitBase application interface with the '決裁情報' (Decision Information) tab selected. This tab displays a detailed view of the decision process for the selected purchase request. It includes a table of decision makers and their roles, along with the date and time of the decision. The '決裁者' (Decision Maker) column lists '中岡麻由子' (Nakagawa Mayuko) as the decision maker, with a role of 'UnitBase管理者'.

決裁者	本人	代理	決裁状況	日時	コメント
決裁者: 50万円以上のルート 条件: 決裁者の確認					
申請者	UnitBase管理者		決裁済	2016/12/27 18:13:18	
1	中岡麻由子 (課長)		決裁中(中岡麻由子)		
2	二宮新太 (部長)				
3	井上正 (事業部長)				

メモ：この時点で、次の決裁者である「中岡麻由子」さんには申請が届いたことが通知されています。Unit Baseホーム画面と、メールでの通知が可能です。

この章のまとめ

この演習では、「購入申請」用途でUnitBaseの決裁設定を行い、決裁データベースとして運用する方法を学びました。また、決裁者の人数が異なる複数のルートの構築方法や、ログインユーザーによって自動的に上長の情報（決裁ライン）を取得し決裁者を一括で登録することができることを学びました。

入力フォームを超短期間かつ簡単に作成できるUnitBaseの特長を活かせば、これまで紙やExcel, メールで行っていた決裁・申請業務をすばやく電子化することが可能です。

お気軽にご相談ください

UnitBaseをお試しいただき、誠にありがとうございました。

幅広い用途に適用できるUnitBaseは、すでに多数のお客様へのご導入実績がございます。
様々な業種・業界でご採用いただいているご導入事例は、下記からご覧ください。

■UnitBase ご導入事例

<http://www.justsystems.com/jp/products/unitbase/case.html>

本書の内容や、製品についてご不明な点などございましたら下記からお問い合わせください。

「こんなふうに使ってみたい」「こんな業務にも適用できるか？」などなど、お気軽にお客様の声をお聞かせいただけますと幸いです。

■UnitBase 試用版 お問い合わせフォーム

<https://www.justsystems.com/jp/srv/eps/trial/ubtrial.html>

今後ともご検討の程、宜しくお願いいたします。

株式会社ジャストシステム 一同

● 「UnitBase」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「UnitBase」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。● Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Excel、Internet Explorer、Active Directory は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。● Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。● その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。● 本テキスト（紙媒体または電子データで提供するものを含みます）は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、テキストの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。● テキストの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。● テキストの内容は予告なく変更することがあります。

2017 年2月 © 株式会社ジャストシステム